

議会だより



“ご入学おめでとう” 4月9日 松島中学校入学式

新年度予算を可決

- ◇ 町長の施政方針と予算…………… 2P
- ◇ 新年度予算を問う…………… 4P
- ◇ 予算はどう使われるのか…………… 6P
- ◇ 一般質問7名の議員が登壇 ……24P
- ◇ 町民の声……………32P

平成26年
第1回 定例会

[3月5日~3月20日]

予算総額148億4,841万1千円

東日本大震災から3年、 復旧から復興そして創造へ

一人一人が健康で
いきいきと生活で
き、安心して子育て
できる環境づくり

「誇りと絆を育み
しなやかに生きる松
島人」を目指す

「松島」の
自然と調和、各
地区が均衡して発
展するよう事業を
推進し、定住でき
るまちづくり

「自然と歴史が
紡ぎあう 誰かを
連れていきたいなる
まち」松島の実現

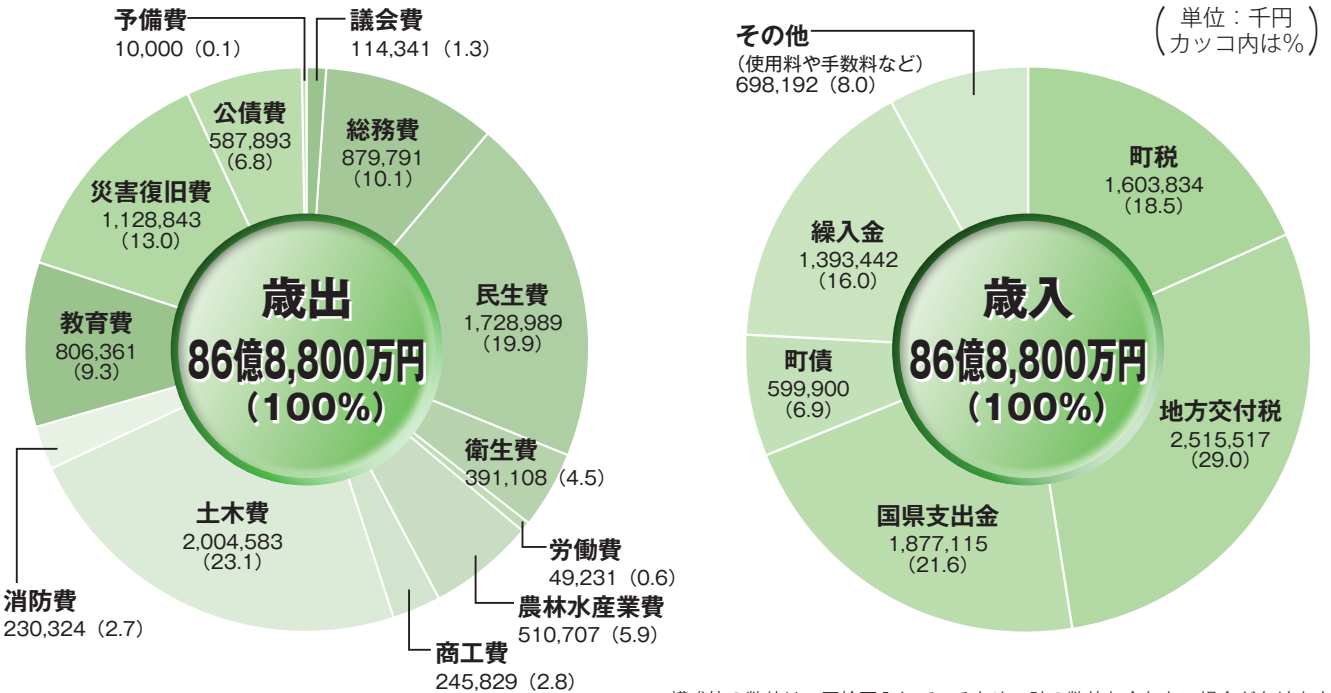
行政・産業人・
町民が一体となっ
て、未来に向けた
まちづくり

平成26年第1回定例会が、3月5日から20日まで16日間の会期で開催されました。7日には、大橋町長から新年度における施政方針が表明されました。新年度予算については、予算審査特別委員会を設置し、分科会方式で慎重に審査され、平成26年度松島町一般会計予算他すべての当初予算を原案のとおり可決しました。また、条例の制定、一部改正、平成25年・平成26年度の各種会計補正予算など議員提案2件を含む50議案を原案のとおり可決しました。一般質問は、7名の議員が各々の視点から町政について質問しました。



施政方針を表明する大橋町長

平成26年度 一般会計86億8,800万円



※構成比の数値は、四捨五入しているため、計の数値と合わない場合があります。

町民
一人あたりの
支出予算額

57万7,660円

(平成26年3月末
人口1万5,040人
による試算)



平成26年度の各会計予算

会計名	平成26年度	平成25年度	前年度当初比	
一般会計	86億8,800万円	139億420万円	△37.5%	
特別会計	国民健康保険	18億9,461万5千円	18億3,837万8千円	3.1%
	後期高齢者医療	2億962万2千円	1億8,851万4千円	11.2%
	介護保険	14億7,720万円	13億9,128万4千円	6.2%
	介護サービス事業	736万6千円	654万2千円	12.6%
	観瀾亭等	6,238万9千円	5,301万3千円	17.7%
	松島区外区有財産	158万2千円	153万7千円	2.9%
	下水道事業	17億2,686万2千円	8億8,540万3千円	95.0%
水道事業会計	7億8,077万5千円	6億8,187万3千円	14.5%	
合計	148億4,841万1千円	189億5,074万4千円	△21.6%	

総括質疑

今野 章 議員

問 消費税増税は止めるべきである。増税分は社会保障費に使うということだったが削減に進んでいる。若者の定住促進などを進める上で地方消費税増額分は福祉施策に使うべきではないか。

答 国の決定であり地方行政としては従わざるを得ない。ご理解を願いたい。福祉施策の充実の必要性は考えており、その姿勢は維持していく。

問 臨時職員の処遇改善が必要だ。保育士など責任を持った働きを要請する上でも必要ではないか。

答 25年度に待遇改善をした。26年度も行う。保育士は全国的に不足しており、応募者が少なく、臨時での対応となった。学童保育は児童の安全を第一に考えている。

問 第二小の高城保育所分園の保育環境の改善を図るべきではないか。



高城保育所分園

答 二部屋を確保し、保護者も了承しており現状のままではよいと考える。

問 松島・高城・磯崎は雨水排水の対応策が考えられているが、初原地区等の対策はどうか。

答 地元の要望もあり、水路の断面積を増やすのは難しく、調整池等の調査等を行う予定である。

問 農業の生産調整の補償金が減額され、主食米の下落も危惧されるが、本町において、どう対応するのか。

答 政策変更にはびっくりしている。今後も続ける方には、行政として支援していきたい。

赤間 幸夫 議員

問 平成26年度全会計当初予算は対前年比21.6%減である。予算編成はどのような観点で行ったか。

答 新年度の歳出に係る事務事業を積み上げ、そのための歳入見込み把握と基金の残高を基に予算編成を行い、行政評価に

基づく編成ではない。

問 防災を含めた都市基盤整備は町内均衡ある推進が望ましいが、どう展開していくのか。

答 地区の特性を踏まえた防災計画の推進と、長期総合計画に基づいた施策展開を行う。

問 東北放射光施設の誘致活動を、戦略的にどう描いているのか。

答 町の持続的発展の為に大学や近隣市町との連携を視野に、国の動向を見極めながら取組む考えである。

問 初原バイパスの延伸と仙台松島線の整備推進を幹線道路ネットワークの観点からどのように考えているのか。

答 震災で二期工事は未定になっているが重要路線との認識から、県と協議をしながら、進めていく考えである。

問 事務事業に対する町民の満足度を、どう捉えているのか。

答 各地区、順次バラ

ス良くとは考えるが要望も多く、追いついていない実態であり、不満のあることも事実である。従って、住民のニーズを実現する組織が役場であり、間違いない様に努力する。

問 庁舎の危機管理で、非常口機能の開放や正面玄関前通過車両の分離策は考えられないか。

答 新庁舎の危機管理は、旧庁舎より良くなったが普段からの備えを念頭に、有事即応体制の為に配慮していく。

片山 正弘 議員

問 庁舎の表現について新庁舎なのか仮庁舎か。

答 今後は庁舎とする。10年後までに候補地を決めていく。

問 復興の中で、避難道路整備事業の用地買収の見通しはどうか。

答 松島地区は進んでいる。手樽地区も図面ができてきた次第進めていく。

問 JA仙台から高城町駅に通じる避難道路の調

査測量に際し、地権者に対し事前連絡が不徹底ではないのか。

答 誠意をもってやっているつもりだが、足りないと言ったことで説明・手順等一回おさらいをする。

問 自助・共助のあり方について伺う。

答 高齢化が進み、自助が難しい方々の要援護者台帳を整理している。関係者が情報を共有し各々の立場で対策を講じていく。

問 一次預り保育について。保育環境の整備、統合をどう進めるのか。

答 海岸保育所は白アリ問題を抱えており、存続について話し合っている。26年度に結論づけることはない。

問 松くい虫被害が町内全域でみられるが、土壌改良の対策は進んでいるのか。

答 震災で空中散布できなかったが、再開する方向だ。有効な対策を検討していく。

菅野 良雄 議員

問 財政構造について、その弾力性が失われつつある。補助金や助成金を見直しする必要もあるのではないか。

答 国の示す基準を大幅に超えている状態にあるが、復興事業を優先的に26年度は結果的に見直しはしていない。

問 予算計上に当たり長期総合計画に基づき策定した基本計画・実施計画を達成すべく図るのが基本と考える。各種計画の達成度をどう評価し、26年度は、どのような気配

りの予算を計上したのか。

答 スケジュールを設定して実施しているものは評価できるが、今まではそうなっていない。

行政評価システムを導入すれば可能であるが、未だ制度化していない。決算時の成果表を見ながら策定している。

問 避難道路や避難施設、内水対策事業等を推進するとしているが、資材や業者不足による入札不調で工期が延びるのでは。復旧・復興事業をどう予測しているか。

答 入札の不調はある。復興交付金の延長もあると報道されており、できるだけ計画の中に収まるよう進めていく。

問 平成24年度 町内誕生者僅か66人。人口増を図るためには、医療費20歳まで無料、保育料無料にするなどインパクトの強い政策を掲げて若者定住促進を図る考えは。

答 震災復興絡みの新しいまちづくりをすることです。新市街地の整備や旧市街地のリニューアルを進め、人口減少、若年人口の流出を防いでいく。

色川 晴夫 議員

問 復興事業の中、長期総合計画を見極めつつ次の総合計画をどうしていく。「住み続けたい町」と言っているが、7年目を迎えた町長の指針は何か。

答 次の総合計画の中には土地利用でまだまだのところがあるので駅周辺の開発を考えていく。

また、少子化の中で当町も人口が減っていくことは認めるが、いろいろ

な対策を打ち出ししている、健全な年齢構成となるよう図っていく。

問 松島駅のバリアフリー化を平成28年度から着工。町負担が3分の1の1億4000万円程度であるが、次の松島海岸駅改修では、同じように国の補助はあるのか。

答 わからない。

問 高城町駅が再開する(28年3月末予定)時、駅前周辺の計画はあるか。

答 駅前避難道路6m幅で計画。JRより駅舎の位置を変え、バリアフリー化を図るため国交省と調整中と言われている。

町の負担の要請も有り得る。

問 福浦島のライトアップが決定されたがどうなる。

答 復興のためにもやるべきと予算付けした。LED照明とし、季節毎に色を変える。

問 地産地消実行委員会が6次産業化に向けて色々提案しているが、商品化のために支援はどうする。

答 応援するのはよいが若手後継者が育っていない弱点がある。

問 ウミネコ対策に期限付で条例化はどうか。

答 伊豆沼サンクチュアリセンターや県の指導は受けている。

**今野 章 議員
菅野 良雄 議員**

同一質問

問 「長期総合計画・第三次基本計画」に示されている品井沼駅周辺を含めた北部地区の整備に、26年度予算はどう反映しているか。

また、平成16年に策定された「都市計画マスタープラン」に示された北部地区の整備方針は。
答 駅周辺の開発は重要と考えているが、開発業者がいないと話にならない。

開発整備は、計画やりたいことと事業主体が出てくるかに左右されると位置づけている。



緑の松を守るために

総括質疑とは

議会の会議に提出される案件（予算案）を一括して質問し答弁を求める質問の方法をいいます。



定住促進ガイドブック

ど
う
つ
つ
か
わ
れ
る
の
か

各課に問う

平成26年度各種会計予算について、議長を除く13名による予算審査特別委員会を設置し、分科会方式で審査しました。
委員会は、各課ごとに質疑応答を行い審査を行いました。

第1常任委員会が審査する課

議会事務局／会計課／総務課／選挙
管理委員会／企画調整課／財務課／
産業観光課（観瀾亭等特別会計含）



町民バス

総務・環境防災

主なつかいみち

○議会費	1億1,434万円(− 1,244万円)
○選挙費	355万円(− 2,737万円)
○総務一般管理費	2億5,743万円(− 206万円)
○町民バス運行費	3,188万円(+ 57万円)

※ () 内は前年度対比

町民バス運転手に休憩所設置に向け検討したい

問 昨年も指摘しているが、区長、行政員等の報酬は業務内容から見て低いことから、報酬審議会にはかるべきでないか。

答 区長、行政員、消防団員等の報酬について26年度中に調査、検討を行い、審議会にはかり27年度を目途に改正したい。

問 選挙ごとに投票率が下っており、その改善策は、どうするのか。

答 期日前投票率が伸びている。投票行動が容易になる様

若年層の有権者向け啓発を重視した対応を検討していく。

問 町民バス運転手の休憩室がないため、個人の車を利用してある。事故等あれば町の責任があるのではないか。

答 現在の母子健康センターなどの施設利用等を検討していく。

企 画 ・ 財 政

主なつかいみち

○復興支援定住促進事業補助金	1,500万円(－)	2,500万円)
○復興推進費	3,872万円(－)	10億8,467万円)
○財産管理費	1億290万円(+)	2,053万円)
○徴税関係費	1億1,090万円(－)	824万円)



松くい虫による被害

産 業 ・ 観 光

主なつかいみち

○農業振興費	2,463万円	(－ 163万円)
○信行振興費	3,021万円	(－ 912万円)
○水産業振興費	1,278万円	(+ 889万円)
○商工振興費	6,897万円	(+ 439万円)
○観光費	6,189万円	(+ 707万円)

問 農業従事者の高齢化と担い手不足等に対する町の取り組み状況は。

答 農業従事者を対象に今後の経営の方向を調査し、将来の農業担い手への農用地の利用集積を推進していく。

問 6次産業化推進事業の取り組みはどのようになっているのか。

答 町内には国の助成を活用し、事業展開している団体もあり、町内で生産される農産物を加工することで付加価値を付け商品の販売促進に繋げるもので、町も支援策を検討していく。

問 松くい虫被害は、東日本大震災の影響を受け、拡大の一途をたどっており、早急な対策を行うべきであるが。

答 震災の影響で、被害対策の規模が縮小したが、県や近隣市町と連携を図り震災以前にも増した取り組みを行っていく。

問 カキの死滅が2年続きであり、危機的な状況にあることから早急な対策を行うべきではないか。

答 宮城県や大学機関に働きかけを行うと共に、養殖技術や種ガキの面等でも効果的な施策を漁業者と検討していく。

松くい虫対策は広域連携を視野に入れた方向で

土取場跡地の活用は

問 町は、企業誘致等のために工業団地の造成を検討しているのか。

答 町は継続的に企業訪問を行い誘致活動を行っている。町内では震災復興事業用の土取りが進んでおり、その跡地の活用を検討していく。

問 東北放射光施設の誘致の取り組み状況はどうか。

答 国では平成26年度に設置を検討するための調査費を予算化しており、箇所付けも未定の状態である。国の動向を見極め県と連携した取り組みを想定している。



幡谷泉ヶ原地区土取場

建設・土木

主なつかいみち

○道路維持費	1億3,770万円(+ 7,376万円)
○道路新設改良費	1億3,479万円(- 32億3,884万円)
○街路事業費	8,340万円(- 13億2,145万円)
○住宅環境整備費	2,510万円(+ 500万円)

問 松島大橋旧道路の利用計画は。

答 橋と橋脚は撤去し、道路はそのまま残し、ポケットパークを作れないか検討している。

問 明治潜穴公園に藤ツタなど生えていて下が見えない状態だが、管理はどうなっているのか。

答 シルバー人材センターに頼んでいたが危険が伴うことなので民間業者に頼めるか考えてみたい。

交通社会実験の今後は

問 交通社会実験は今後どのようにするのか。

答 今回見えてきた課題を整理して、協議会でどのような時期にどのような内容で実施するかを検討する。周知がうまくいかなかった点もあり、混んでない路線など情報の提供をしていく。



明治潜穴公園

第2常任委員会が審査する課

町民福祉課／健康長寿課／建設課
／教育委員会／水道事業所



敬老会

町民サービス・福祉

主なつかいみち

○障害者福祉費	2億6,075万円(+ 1,947万円)
○老人福祉費	2億9,520万円(+ 1,658万円)
○子育て支援事業費	664万円(+ 246万円)
○子ども医療対策費	1,798万円(- 113万円)
○児童館建設費	1億8,539万円(+ 1億8,089万円)

町の健診で早期発見を

問 敬老の日の記念品は、全員受け取りに来るのか。

答 87%受け取りに来ている。取りに来ない方の分は、中身が非常食なので保管している。

問 特定健康診査の受診率はいくらか。

答 昨年度は48・5%、今年度は52%を目標にしている。集団健診も伸び悩んでいる。やり方を検討しなければと思っている。

問 町の健診で早期発見をされた方の体験談を広報に載せてはどうか。

答 健診による早期発見が健康回復につながることを訴えていく。

問 サービス向上として保育所に民間の業者を参入してはどうか。

答 庁内で指定管理の話はあるが現在民間の参入は考えていない。

教 育 ・ 文 化

主なつかいみち

○文化財保護費	2,076万円	(- 89万円)	○学校建設費(小学校)	157万円(新 規)
○給食施設費	1億1,224万円	(+ 1,230万円)	○幼稚園費	6,222万円(- 204万円)
○体育施設費	1億1,277万円	(新 規)	○幼稚園建設費	1億6,757万円(+ 1億5,661万円)

不登校の実態は

問 不登校の実態はどうなっているのか。

答 ピーク時では小学生11名、中学生27名でしたが、今年度は小学生0名、中学生9名。

問 けやき教室(※1)の利用状況はどうか。

答 松島の利用者は少ない状態である。町独自の心のケア・不登校対策にシフトしていきたいと考えている。

※1 塩釜市で設置している学校不適応児童・生徒の学校生活への復帰を図る教室

問 「いずみ文庫」の町民に対する周知はどうなっているのか。

答 いずみ文庫についての説明書きを図書室に掲示し、広報にも河北新報に掲載された記事と勤労青少年ホームの「いずみ文庫」の関連について広報に載せてもらうよう指示をしている。

問 町民の森の施設は現代にそぐわなくなってきたている、オートキャンプ場など時代にあつたものにしていくべきではないか。

答 教育施設としての範囲で改善していきたい。



寄付で設けられた「いずみ文庫」

第2分科会現地調査



二子屋浄水場建設予定地



保健福祉センターどんぐり

特別会計

主なつかいみち

○国民健康保険	18億9,462万円(+5,624万円)
○後期高齢者医療	2億962万円(+2,111万円)
○介護保険	14億7,720万円(+8,592万円)
○介護サービス事業	737万円(+82万円)

下水道・水道事業

主なつかいみち

○下水道事業費	17億2,686万円(+8億4,146万円)
○水道事業費	7億8,076万円(+9,889万円)

特養ホーム増床の見通しは

問 特養ホームの建設、増床の見通しは。

答 建物を建てても、従事者不足で全床開設できない所もあり、様子を見ながら検討していきたい。

問 国民健康保険の税制改正はどのようなのか。

答 国民健康保険税の賦課限度額のうち、後期高齢者支援金が14万円から16万円に、介護保険料が12万円から14万円に改正予定。また、軽減については5割

軽減と2割軽減の対象者が増える予定。



管渠布設が確認された第2磯崎踏切

あつたぞ！仙石線の下を通る下水道管

問 下水道排水管整備のうち、高城・磯崎分区にまたがる排水管はどうなっている。

答 仙石線開通前の今やるべきではないか。

答 土樋合区域は、未整備である。

現地立会いの上説明したい。

※現地調査の結果仙石線下に既設してあるが、その先の地権者との調整などがあり、事業が進まずにいる現状である。

問 以前も高城雨水ポンプ場の工事をおこなったのではなかったか。

答 平成24年・25年度にポンプは更新したが、管の老朽化が激しいので排水管を更新する。



特別養護老人ホーム長松苑

町当局に21項目の意見・要望を提出

予算審査特別委員会を開き、第1分科会（第1常任委員会、第2分科会（第2常任委員会））にわかれて、平成26年度一般会計予算と特別会計予算について、6日間審査しました。

その結果、以下の意見・要望を集約して、町長に提出しました。意見・要望の内容をお知らせします。



予算審査特別委員会 高橋幸彦委員長

投票率向上と投票所の変更について

（選挙管理委員会）

本町においても若者（20～30歳代）の投票率が低い現状である。

各選挙の投票率を上げるためにも期日前投票の啓発活動（特に若者向けのインターネット配信の活用を含めた取り組み）にこれまで以上に努められたい。

今年度からの各選挙における期日前投票所を庁

舎3階の会議室に設置したいとの事であるが、エレベーターが設置されたとはいえ、庁舎管理上や投票率低下につながる恐れがあるので、住民が混乱せず分かりやすく投票できる庁舎1階や他場所

で検討すべきである。また、これまでもたびたび指摘してきたが、磯崎地区の投票所の変更についても、町当局と選挙管理委員会が協議を行い、実現できるように強く望むものである。



役場内エレベーター

区長等の報酬の見直し

（総務課）

昨年度も指摘したが、区長等の報酬の見直しは行われていない。区長等は町と地区内の住民の連絡調整や町行事への協力等、業務が多くなってきたおり、早急に検討されたい。

また、松島町の特別職等の報酬全体についても業務内容等を確認し、早急に見直しを検討されたい。

町民バス運転手の休憩室の設置

（総務課）

松島町中央公民館が松島町文化観光交流館に改修されたことに伴い、町民バス運転手の休憩室が

なくなり、現在は町民バスや自家用車の中で休憩している。

町民バスの安全運行のためにも、従事者の福利厚生（休憩室等）の向上に努められたい。

企業誘致・定住促進対策

（企画調整課）

町はこれまでも、企業誘致や定住促進の各種施策を行ってきた。しかしながら、成果が見られない。

そのことから、受け皿となる工業団地の造成と町独自の優遇制度の創設、また、住宅団地を造成し町外からの移住促進など、企業誘致・定住促進により効果を上げる新たな施策展開を求める。

プレミアム商品券

(産業観光課)

平成26年度のプレミアム商品券発行事業に係る町からの補助金は、前年度予算の2倍である。商工会自らが使用できる店舗や事業所を増やし、消費者の利便性に配慮された商品券の活用を望む。



プレミアム商品券

観光振興

(産業観光課)

松島の観光客の入込者数も宿泊者数も東日本大震災前の水準まで戻っていない中で、松島湾が昨年12月に日本初となる「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟し、日本三景「松島」を全世界へ発信した。

今年4月から6月まで「仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン2014」が実施される。また、観光施策の推進のため「仙台・宮城観光キャ

ンペーン松島地区実行委員会」の事務局が一般社団法人松島観光協会から産業観光課観光班(4月から)に置かれることとなった。

一方、松島観光協会の会長他執行体制が代わるようであることから、これまで以上に松島観光協会と一体になって、松島の観光振興を図るよう求める。

耕作放棄地問題

(産業観光課)

耕作放棄地対策はこれまでも農業委員会が取り組んできたが、農業従事者の高齢化と担い手不足等もあり増加する一方である。効果的な施策は難しいと思うが、町当局と農業委員会が協議をかさね、取り組みをより以上に強化されたい。

カキの死滅対策について

(産業観光課)

昨年、議会からの意見もあり、カキ死滅対策事業補助金が当初予算に計上されている。漁業者は2年続きの死滅により大打撃を受け危機的な状況にある。

東日本大震災以前の水揚げに戻れるような効果的な施策や宮城県への働きかけなど、松島湾のカキ死滅対策を強く望む。

松くい虫対策

(産業観光課)

松の被害は東日本大震災後、拡大の一途をたどっている。平成26年度は宮城県においても松くい虫被害対策費を増額しているものの十分とはいえない。今後の対策については、「特別名勝松島の景観保持推進協議会」でさらに協議をかさね、被害の拡大を防ぐことを望む。また、防除区域以外の松に対しても対策を講じられたい。

る場合がある。正職員を配置し、来庁者の利便性向上と個人情報情報の安全確保を望む。

保育所職員

(町民福祉課)

職員の約半数が臨時職員である。直接的な保育業務においては正職員と大差はないが、収入には大きな開きがある。また、保育業務に対する責任の程度にも違いがあり、子どもの保育環境向上のため正職員の増員を望む。

保育所の環境整備

(町民福祉課)

町内の保育所は老朽化が進み修理や改修等が必要な箇所が年々増えてきている。機能不足部分も含め保育所の環境整備の充実を望む。

窓口対応

(臨時職員)

各種証明書の発行や手続き窓口は、主に臨時職員が担当している現状である。臨時職員に守秘義務があるとはいえ継続した雇用ではないことから、個人情報取り扱いについて心配されるところがある。また、専門的手続きや相談においては臨時職員では対応できず、来庁者に不便をかけ

子育て支援制度の拡充

(町民福祉課)

他町村と比較し当町の子ども医療費助成制度を含めた子育て支援制度の水準は高いとはいえない状況である。子ども医療費の対象年齢の引き上げ(拡充)をするなど子育て世代への支援充実を図るべきである。

障がい者支援サービスの充実

(町民福祉課)

障がい者に対するショートステイやデイサービス等が少ないことから、近隣市町と連携を図り充実を望む。

保健福祉センターの設備管理

(健康長寿課)

保健福祉センター内の給湯・暖房設備等に不具合を生じないようにし、利用者が不便なく利用できるよう対策を望む。

町道の除雪

(建設課)

高齢化が進み除雪作業そのものが困難になっている世帯が増えていることから、町道の除融雪作業の路線の検討・見直しを望む。

雨水排水対策

(建設課)

異常気象による雨量増加の際に田中川、新川付近住民は不安を抱えている。住民が安心して生活ができるよう河川管理者へ改修等の働きかけも含め、雨水排水対策を望む。

松島運動公園多目的広場の整備

(教育委員会)

多目的広場の人工芝整備に係る財源の一部は(独)日本スポーツ振興くじ助成交付金である。交付額は確定していないことから確実な財源確保を望む。

また、整備後については町民の福祉向上に結びつくような活用を望む。

松島区外区有財産特別会計の廃止

(財務課)

松島区外区有財産特別会計については、これまでも指摘しているところであり、本特別会計廃止に向け、年次スケジュールに基づいた取り組みを望む。

下水道事業特別会計予算 公共下水道事業認可区域内の未整備区域

(水道事業所)

住民が公共下水道に接続したくても特別な事情や立地条件により、接続できない区域がある。可能な限り公共下水道に接続できるよう対策を望む。

各課共通

各種保険料並びに使用料等の徴収体制

保育料や介護保険料並びに給食費等の未納者は町税等の未納者と重複していることが多い。また、徴収業務も各課の担当ごとであり苦慮している状況である。税徴収担当職員による知識や経験を生かした一括徴収の検討も含め、徴収業務の各課連携と未納対策の強化を望む。



町道の除雪



運動公園多目的広場

一般会計予算

消費税増税に
反対

今野 章
議員

国は消費税を8%に引上げ、年金や医療改悪と合わせ10兆円の負担増を国民に求めながら財政再建の見通しもない。本町当初予算は、消費税増税で約1億の支出増、それだけ町民のための予算が減る。また、増税分は全額社会保障にと地方消費税の配分が増えたが福祉施策の充実もされない。新たに配分される地方消費税分は、子ども医療費助成拡大など福祉施策の充実に充てるべき。幼稚園・学校の給食費を年約5000円値上げし、下水道や水道料金にも消費税を転嫁する。町民の暮らしや経済動向の見極めが必要で、そのまま転嫁する予算には反対である。

意欲的予算に
賛成

高橋 幸彦
議員

平成26年度の一般会計当初予算は平成25年度に比べ、金額で52億1620万円、率にして37.5%の減となっている。このような厳しい当初予算ではあるが、前年に引き続き復興支援定住促進事業に5320万7千円。宅地かさ上げ事業に2510万円を計上しており、新規事業としては漁港海岸・海岸保全施設築造事業2億8065万円等。また、長期総合計画に位置付けられた児童館建設費、第五幼稚園建設費を計上した意欲的な予算である。

予定されている事業がとどこおりなく完了されることを期待して、賛成の討論とする。

国民健康保険特別会計予算

国庫負担の増額を求め
反対

今野 章
議員

国民健康保険の加入世帯の内、2割、5割、7割の法定減免を受ける世帯は、加入世帯の57%に達している。国保は、本当に所得の低い方々の医療保険となっている。所得がゼロでも国保税は納めなければならず、国保税の滞納額は年々増え、欠損処分を行ってもなお、大きな累積滞納をつくっている。加入者の負担能力を超えた国保税のあり方こそ見直されなければならぬ。

国保の困難の要因は、国が医療に対する負担割合を次々と引下げてきたことにある。町は、国庫負担の増額を積極的に求め、加入者負担の軽減を図るべきである。

官民一体となる健康づくりに
賛成

高橋 利典
議員

本町における平成26年度予算は、歳入歳出18億9461万5千円で、前年対比3%増の計上であり、厳しい国保会計運営になっている。

例年実施されている特定健康診査事業では、445万7千円の計上されており、疾病の早期発見による医療費の抑制があることから、受診率向上と町民の健康増進に努めていただきたい。町民と地域、行政が一体となり健康づくりや生活習慣の予防に務めることでの医療費の削減や健康増進につながることを期待し賛成討論とする。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者
医療制度は廃止すべき
反対

今野 章
議員

宮城県後期高齢者医療は、平成26年度から所得割率が8.3%から8.56%へ、均等割で4万9200円から4万2960円に、賦課限度額が55万円から57万円に引き上げられる。この制度では、医療費の増加が保険料負担に直結し2年に一度の保険料見直しで確実に保険料引上げにつながる。年金の給付額は引き下げられ、消費税率が5%から8%になる中での保険料引上げは、高齢者の生活をいっそう厳しくし、少なからず地域経済にも悪影響を及ぼす。税と社会保障の一体改革・増税分は社会保障にしながら負担増を押しつけるこの制度は廃止すべきである。

国の制度で
公平性の観点から
賛成

小幡 公雄
議員

平成26年度松島町後期高齢者医療特別会計予算案について、高齢化社会が急速に進む中、医療費の増加等に伴い、国の制度上、公平性の観点からも保険料の一定程度の上昇はやむを得ないと考えます。一方、所得の少ない被保険者に対する保険料の軽減措置の拡充も示されており、低所得者対策にも配慮されているところから賛成の討論とする。

下水道事業特別会計

消費税増税を
転嫁する仕組みに
反対

今野 章
議員

震災から3年。被災者の生活は今でも厳しく、電気、食料品、燃料など物価も上り続け、節約も大変という声がある。年金や生活保護基準の引下げ、観光客の減と地域経済も大変な状況である。このまま消費税増税を町民に転嫁する値上げ案を認めることはできない。また、地方消費税率が1%から1.7%になるが、増税によって社会保障・福祉施策が充実される訳でもない。消費税は、担税能力のない人からも無理やり剥ぎ取る仕組みで最大の不公平税制・逆進性の強い税制で、国の政策だからと従ってばかりでは、町民の暮らしを守れない。

議案審議

松島の美しい 景観を後世に…

『景観条例制定』

現状



修景後



※注：修景イメージ図です

質疑者

- 澁谷秀夫 議員
- 赤間幸夫 議員
- 櫻井靖 議員
- 片山正弘 議員
- 今野章 議員
- 太齋雅一 議員
- 色川晴夫 議員
- 菅野良雄 議員
- 高橋利典 議員
- 阿部幸夫 議員

松島町景観条例 の制定

主な内容

景観法の規定に基づく景観計画の策定、行為の規制等について、必要な事項を定めるとともに町の景観形成に関し基本となる事項等を定めることにより、松島町のすぐれた景観を一人一人の手で守り育み、町民や事業者が愛着と誇りを感じ、観光客の心に残る景観の保全及び創造を図るために制定するもの。

質疑

問 景観フォーラムや町民懇談会等を通じ景観条例を町民に周知している。これだけでは不十分である。条例施行前に、町民等に対し景観に関する知識の普及や意識の啓発のための情報提供策をどのように考えているか。

答 素案は平成24年7月31日に全員協議会に報告を行い、これまでに景観重点地区に対し20回の勉強会を行っている。今後さらに広報やホームページを活用して特集により周知を行う考えである。

問 緑のゾーンに太陽光パネルが設置されてきており、景観条例との関係はどう理解するのか。

答 震災以降に文化財保存管理計画を所管する宮城県でも懸念されたが、パネルの設置は文化財として認める方向である。町としても景観条例上、認める考えである。

問 重点地区内の一般住宅も対象となるのか。

答 そのとおりであり、重点地区を4カ所で補助金や景観の手続を細かく周知していく。

問 最重点地区内にある史跡、名勝、天然記念物や樹木については、条例の適用外となり、管理が及ばないが、その取り扱いはどうなるのか。

答 景観法では、指定文化財は適用外であり、管理は文化財の補助制度の活用になる。

問 この条例の効果は相

当数の年月を経て発揮されるが、調整区域や農業振興区域では、規制が強まらないのか。

答 景観の区域は、全町を対象にしているが規模等から一般の方は対象にはならない。

問 景観条例の中での眺望という考え方をどう理解するのか。

答 眺望については、定期的な定点を決め、時間の経過による観測を行い、長いスパンでの広い視野に立った眺望を景観計画では描いているが、5年を目途に見直しを考えている。

賛成多数・可決

職員の給与に関する 条例の一部改正 る条例の一部改正

主な内容

平成25年8月に出された人事院勧告に鑑み、平成26年4月1日現在で年齢45歳未満の職員を対象とした号俸の回復を行うために改正するもの。

賛成全員・可決

職員等の旅費に関する条例の一部改正

主な内容

外国旅行の際に支給されていた支度料が実態にそぐわなくなったことから、支度料自体は廃止し、支度料のうち実費で支給することが適当なものを旅行雑費として整理し、所要の改正を行うもの。

質疑

問 旅行雑費の支給に対する領収書添付はどごまでか。

答 精算は、全部でありその証である領収書はすべてにおいて必要とされる。

問 海外旅行に使用される物品の賃借料はどのようなものか。

答 想定ですが、おもにスーツケースになります。

賛成全員・可決

松島町社会教育委員の設置に関する条例の一部改正

主な内容

社会教育法の一部改正により、同法に規定されていた社会教育委員の委嘱の基準を、地域の実情に応じて市町村の条例で定めることとなったことから所要の改正をするもの。

質疑

問 委員の委嘱に当たって家庭教育の向上に資する活動を行う者とは、どのような方になるのか。

答 子供会育成会連合会や家庭児童学級の指導員の方々である。

賛成全員・可決

松島町下水道条例の一部改正

主な内容

「社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法等の一部を改正

討論

反対
今野 章議員

消費税はもともと担税能力のない人からも無理やり剥ぎ取って仕組みの最大の不公平税制、逆進性の強い税制であり、国の政策ではあるが、公共料金等への転嫁には反対であり、町として少なくとも町民の暮らしの状況や、経済動向を見極める必要があり、4月から町民にそのまま転嫁することは認めることができないことから反対する。

質疑

問 消費税が5%から8%税率引き上げによつて、負担増はいくらになるか。

答 5%で971万円円で、8%では1千554万円となり、割合では58.3万円程度の負担増となる。

問 町に対し地方消費税の交付金1%から1.7%になる。社会保障関連に新たに上乗せし、更なる充実を図っていくのか。

答 地方に來る消費税で社会福祉の充実のみではなく、町単独・町負担などもあり、改めて別個に充実させているという点では、予算編成はしていない。

賛成
後藤 良郎議員

社会保障の安定財源の確保を、税制の抜本的改革を行うため、消費税及び地方消費税の率が平成26年4月1日より8%に引き上げられることにより、一層の社会保障の充実を期待し賛成。

賛成多数・可決

松島町水道事業給水条例の一部改正

主な内容

「社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法等の一部を改正する等の法律」等において、消費税及び地方消費税の率が平成26年4月1日より8%に引き上げに伴い、水道料金等に係る規定を改正する。

賛成多数・可決

宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更

主な内容

平成26年3月31日限り、宮城県市町村職員退職手当組合から塩釜地区環境組合が脱退する。

賛成全員・可決

主な内容

平成26年3月31日限り、宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会から塩釜地区環境組合が脱退し、宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約を変更する。

賛成全員・可決

宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更

主な内容

平成26年3月31日限り、宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会から塩釜地区環境組合が脱退し、宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約を変更する。

賛成全員・可決

宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更

指定管理者の指定

（集会施設31箇所）

主な内容

公共施設の指定管理者を指定しているが、引き続き平成26年4月1日から平成29年3月31日まで指定するものである。（高城公会堂は平成26年6月30日まで）

賛成全員・可決



本郷ふれあいセンター

【集会施設の指定管理者】

名称	団体名	指定の期間
垣ノ内集会場	松島町松島区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
小石浜支館	松島町松島区	平成29年3月31日まで
蛇ヶ崎集会所	松島町高城区	平成26年4月1日から平成26年6月30日まで
高城公会堂	松島町高城区	平成26年4月1日から平成26年6月30日まで
本郷ふれあいセンター	松島町本郷区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
帰命院地区支館	松島町本郷区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
反町支館	松島町磯崎区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
白秋会館	松島町磯崎区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
華園集会場	松島町磯崎区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
名籠支館	松島町磯崎区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
古浦集会場	松島町手樽区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
三浦支館	松島町手樽区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
左坂支館	松島町手樽区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
北小泉・下竹谷地区コミュニティセンター	北小泉・下竹谷地区モデルコミュニティ推進協議	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
中出山集会所	松島町北小泉区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
滝ノ沢サブセンター	松島町北小泉区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
後小泉サブセンター	松島町北小泉区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
蒲サブセンター	松島町下竹谷区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
大日向サブセンター	松島町下竹谷区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
中才サブセンター	松島町下竹谷区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
萱倉支館	松島町上竹谷区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
上竹谷生活センター	松島町上竹谷区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
小ヶ谷支館	松島町上竹谷区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
品井沼第二支館	松島町上竹谷区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
中通支館	松島町上竹谷区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
上幡谷生活センター	松島町上竹谷区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
根廻分館	松島町根廻区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
後根廻支館	松島町根廻区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで

名称	団体名	指定の期間
初原コミュニティセンター	松島町初原区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
上初原支館	松島町初原区	平成29年3月31日まで
桜渡戸分館	松島町桜渡戸区	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで

【松島町営墓地の指定管理者の指定】

主な内容

松島町営墓地の指定管理者を指定しているが、引き続き平成26年4月1日から平成29年3月31日まで指定するものである。

賛成全員・可決

名称	団体名	指定の期間
古浦墓地	松島町営古浦墓地管理組合	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
三浦墓地	松島町営三浦墓地管理組合	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
古浦墓地	松島町営古浦墓地管理組合	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで

【町道の路線認定について】

主な内容

松島町高城字愛宕地内の開発行為に係る道路の管理引継が終了したことに伴い、新規に3路線を町道認定するものである。

賛成全員・可決

名称	団体名	終点
愛宕北3号線	松島町高城字愛宕一32-33	松島町高城字愛宕一32-55
愛宕北4号線	松島町高城字愛宕一32-9	松島町高城字愛宕一32-28
愛宕北5号線	松島町高城字愛宕一20-5	松島町高城字愛宕一20-10

【工事請負契約の締結について】

主な内容

再生可能エネルギー等の導入事業に係る松島第一小学校及び松島第五小学校への太陽光発電設備及び蓄電池等の設置工事に関するもので、契約及び財産の取得または処分に関するものである。

賛成全員・可決

活性化に向けて!!

特別委員会設置

議会活性化調査特別委員会

主な内容
議会の権能を十二分に発揮するため、継続した議会の活性化は必要不可欠であることから、松島町議会の現状を再認識し、今後の在り方について検討する。

委員長 澁谷秀夫
副委員長 赤間幸夫
調査期限 平成28年9月



松島町議会

東北放射光施設誘致調査特別委員会

主な内容
放射光施設は物質の解析や分析などの画期的な手段として、様々な分野で学術研究・産業応用に広く利用されている。放射光施設の誘致を実現できれば産業振興のみならず雇用の確保、定住促進など、町の課題解決に大きな効果が期待されることから、誘致実現を目的とする。

委員長 高橋幸彦
副委員長 小幡公雄
調査期限 調査終了まで



兵庫県に立地する放射光施設 Spring-8 (スプリングエイト)

東日本大震災復興対策特別委員会報告

震災に係る復興状況の調査及び復興対策に関する事業

《現地調査内容》

- ◎国事業
 - ・ 国道45号歩道拡幅事業
- ◎県事業
 - ・ 松島公園津波防災緑地整備事業
 - ・ 松島港湾高上げ事業
 - ・ 高城川河口部堤防高上げ事業
- ◎磯島災害復旧事業
- ◎町事業
 - ・ 小石浜地区雨水対策
 - ・ パノラマハウス解体工事
 - ・ 松島大橋架換事業
 - ・ 漁業集落防災機能強化事業

(名籠地区)

- ・ 松島地区等避難施設整備事業 (名籠地区)
- ・ 手樽地区復興まちづくり拠点施設

調査日・2月27日(木)
11件の現地調査を町担当課説明により行った。

(特記事項)

パノラマハウス解体は完了していたものの、他事業は設計段階の内容であった。



グリーン広場

平成
25年度

各種会計補正予算

一般会計総額 3億1,100万減額し

171億

9,327万7千円に

但し 復興交付金事業35事業分 約75億円を26年度に繰越し

一般会計補正予算 (第7号)

主な内容

- 震災復興基金費 1億6402万1千円増
 - 障害者自立支援及び心身障害者医療費助成 1132万3千円増
 - 商工費・小規模事業者地域活力活用支援事業 100万円増
 - 松島大橋災害復旧家屋等移転補償費 2600万円増
 - 職員の人件費の精査 2844万8千円減
 - 復興推進費で調査測量設計業務 1億5213万1千円減
 - 体育施設費 1億1798万2千円減
 - 漁港災害復旧工事 2億4341万5千円減
- 今回補正は、人件費、各事務事業の精査に伴う減額が主であり、歳入歳

質疑者

- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 今野 章 議員 | 色川 晴夫 議員 | 櫻井 靖 議員 | 高橋利典 議員 |
|---------|----------|---------|---------|

出予算の総額から歳入歳出それぞれ3億1106万円を減額し、それぞれ171億9327万7千円とするもの。

なお、建築資材の高騰などで工事の遅れにより、年度内完了が見込めなく平成26年度に繰り越される事業が多い。東日本大震災復興交付

金事業43事業の中で、手樽地区並びに松島地区の復興まちづくり拠点施設整備事業、安心・安全なまちづくり基盤整備事業の石田沢、三十刈地区、公共土木施設災害復旧事業など35事業、全額にして約75億円を繰り越すものである。



松島大橋

質疑

問 災害援護金貸付金の当初予算は4110万円であった。その81%あたる3550万円の減額とした理由は。

答 25年度は21件を見込んでいたが、2件の貸付である。今後、広報などで周知していく。

問 合併浄化槽の設置事業で、当初30基分の1242万円を見込んでいたが、その7割の860万円を減額した理由は、また、どう推進していくのか。

答 6月補正で追加し50基を見込んでいたが、32基の申し込みであった。今後、町民負担を軽減すべく積極的に進めていく。

問 入湯税が4600万円と企業努力で増えている。町も全国に松島温泉を一層広報に努めてほしい。

答 世界で美しい温泉会議など提唱していきたい。

賛成全員・可決

第8次 配分

東日本大震災復興交付金 24億8,070万円積立て

一般会計補正予算 (第8号)

主な内容

今回の補正は、東日本大震災復興交付金第8回配分決定額に伴い、事業費を精査し補正するものである。富山観音表参道環境整備事業及び災害公営住宅整備事業は、年度内完了が見込めないため繰り越し、松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業（石田沢地区）他3事業については、交付金第8回配分決定等に伴い繰越明許費の変更するものである。

賛成全員・可決

国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

主な内容

保険財政共同安定化事業拠出金等の額の確定及び平成24年度療養給付費等負担金の確定に伴う返還金等について補正するものであり、財源については、保険財政共同安定化事業交付金等を補正しこれらの財源を精査し財政調整基金繰入金を増額するものである。

賛成全員・可決

後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

主な内容

後期高齢者医療保険基金安定負担金の確定に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金を補正するものである。

賛成全員・可決

介護保険特別会計補正予算(第4号)

主な内容

保険給付費等の実績等に伴う精査及び平成24年度介護給付費の精査に伴う国・県支出金の返還並びに消費税増税対応に伴う介護保険システム改修業務・地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金等について補正するものであり、歳入については、保険給付費等に係る国・県支出金等を補正し、これらの財源を精査し財政調整基金繰入金を減額するものである。また、地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金については、年度内事業の完了、

交付が見込めないことから繰り越しするものである。

賛成全員・可決

介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

主な内容

介護予防支援事業収入を精査し、介護予防支援業務委託料を減額するものである。

賛成全員・可決

観瀾亭特別会計補正予算(第3号)

主な内容

今年度の消費税及び地方消費税中間納付額の確定並びに各事務事業を精査し、歳入については、福浦橋の事業収入の実績見込みに伴い増額し、これらの財源を精査し財政調整基金積立金を補正するものである。

賛成全員・可決

下水道事業特別会計補正予算(第4号)

主な内容

公共下水道施設災害復旧事業の協議設計のうち高城浜排水区について保留解除、交付決定に伴う災害復旧事業の補正及び各事務事業の精査、事業費の確定に伴い補正するものであり、これらの財源を精査し一般会計繰入金を減額するものである。また、国道45号下水道管移設工事他2事業については、年度内完了が見込めないため繰り越しするものである。

賛成全員・可決

水道事業会計補正予算(第3号)

主な内容

収益的収入における、今後の収益見込精査に伴い関係所要額を補正し、資本的支出においても、事業精査に伴い委託料及び工事費を減額補正するものである。

賛成全員・可決



基盤整備事業（石田沢地区）

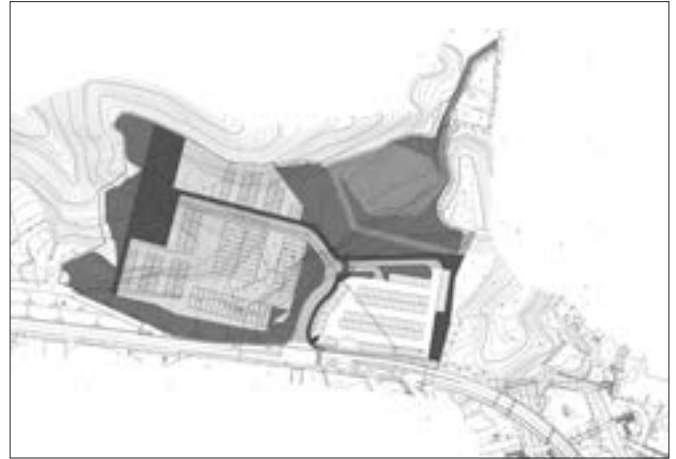
補正予算

平成26年度一般会計補正 三十刈避難場所整備 他9事業

東日本大震災復興交付金第8次配分決定額として採択された事業等についての補正



三十刈駐車場



計画案

補正予算

	事業名	事業内容	補正予算額
1	備蓄倉庫整備	松島第一小学校・本郷ふれあいセンター・緑松会館・フットボールセンター・手樽地域交流センター	2億5,317万1千円
2	復興まちづくり支援施設整備	松島パノラマハウスの建替え	1億5,181万5千円
3	松島地区等避難施設整備	帰命院地区・緑松会館・長田地区・白萩地区・名籠地区・古浦地区・三浦地区	7億7,676万9千円
4	東浜地区避難場所整備	避難場所整備(9,000㎡) 造成盛土・園路舗装・広場張芝・防災四阿	2億939万円
5	松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備(三十刈)	避難場所整備(24,104㎡) 造成盛土・雨水排水・調整池	4億3,834万円
6	松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備(石田沢)	避難場所整備(21,140㎡) 造成盛土・雨水排水・調整池	4億6,644万4千円
7	高城地区津波避難施設整備	JA仙台松島支店の改修による2階・3階部分	2億4,620万円
8	漁港集落防災機能強化	名籠・大浜地区集落内道路用地測量調査 大浜地区・銭神地区漁業集落嵩上げ	1億1,370万円
9	松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備	西行戻しの松公園内 (防災器具庫・園道・トイレ建築等)	2億2,296万4千円
10	防災まちづくり広場整備	本郷ふれあいセンター近接 整地舗装・トイレ・遊具・照明等	6,996万3千円

賛成全員・可決

下水道事業
特別会計補正
(第一号)

主な内容

東日本大震災復興交付金第8回配分決定額として採択された、松島地区下水道事業復興調査設計業務等について補正するものである。(雨水ポンプ場等実施設計)

普賢堂地区・蛇ヶ崎区
高城地区・磯崎地区
賛成全員・可決

【工事請負契約の締結】

主な内容

松島町管理漁港の古浦・名籠・銭神の3漁港施設及び海岸保全施設の復旧工事平成27年度までの3ヶ年で契約するもの。

賛成全員・可決

【工事請負契約の変更】

主な内容

松島第一小学校・第五小学校太陽光発電装置工事について、消費税引き上げに伴う契約の変更の締結。

賛成全員・可決

平成26年第1回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※櫻井公一議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	澁谷秀夫	赤間幸夫	櫻井靖	片山正弘	後藤良郎	小幡公雄	高橋幸彦	今野章	太齋雅一	色川晴夫	菅野良雄	高橋利典	阿部幸夫	櫻井公一	賛成	反対
議案第1号	松島町景観条例の制定	3月7日	多	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第5号	松島町下水道条例の一部改正	3月7日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第6号	松島町水道事業給水条例の一部改正	3月7日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第35号	平成26年度松島町一般会計予算	3月19日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第36号	平成26年度松島町国民健康保険特別会計予算	3月19日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第37号	平成26年度松島町後期高齢者医療特別会計予算	3月19日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第42号	平成26年度松島町下水道事業特別会計予算	3月19日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第43号	平成26年度松島町水道事業会計予算	3月19日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1

賛成全員

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案第2号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正	議案第24号	指定管理者の指定（古浦墓地）
議案第3号	職員等の旅費に関する条例の一部改正	議案第25号	町道の路線認定
議案第4号	松島町社会教育委員の設置に関する条例の一部改正	議案第26号	工事請負契約の締結（松島第一小・第五小学校太陽光発電装置等設置工事）
議案第7号	宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更	議案第27号	平成25年度松島町一般会計補正予算（第7号）
議案第8号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更	議案第28号	平成25年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
議案第9号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更	議案第29号	平成25年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案第10号	指定管理者の指定（垣ノ内集会所・小石浜支館・蛇ヶ崎集会所）	議案第30号	平成25年度松島町介護保険特別会計補正予算（第4号）
議案第11号	指定管理者の指定（高城公会堂）	議案第31号	平成25年度松島町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）
議案第12号	指定管理者の指定（本郷ふれあいセンター・帰命院地区支館・反町支館）	議案第32号	平成25年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算（第3号）
議案第13号	指定管理者の指定（白萩会館・華園集会所）	議案第33号	平成25年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第4号）
議案第14号	指定管理者の指定（名籠支館・古浦集会所・三浦支館・左坂支館）	議案第34号	平成25年度松島町水道事業会計補正予算（第3号）
議案第15号	指定管理者の指定（北小泉・下竹谷地区コミュニティーセンター）	議案第38号	平成26年度松島町介護保険特別会計予算
議案第16号	指定管理者の指定（中出山集会所・滝ノ沢サブセンター・後小泉サブセンター）	議案第39号	平成26年度松島町介護サービス事業会計予算
議案第17号	指定管理者の指定（蒲サブセンター・大日向サブセンター・中オサブセンター・萱倉支館）	議案第40号	平成26年度松島町観瀾亭等特別会計予算
議案第18号	指定管理者の指定（上竹谷生活センター）	議案第41号	平成26年度松島町松島区外有財産特別会計予算
議案第19号	指定管理者の指定（小ヶ谷支館・品井沼第二支館・中通支館・上幡谷生活センター）	議案第44号	工事請負契約の締結（古浦・名籠・銭神漁港災害復旧工事）
議案第20号	指定管理者の指定（根廻分館・後根廻支館）	議案第45号	工事請負契約の変更（松島第一小学校、第五小学校太陽光発電装置等設置工事）
議案第21号	指定管理者の指定（初原コミュニティーセンター・上初原支館）	議案第46号	平成25年度松島町一般会計補正予算（第8号）
議案第22号	指定管理者の指定（桜渡戸分館）	議案第47号	平成26年度松島町一般会計補正予算（第1号）
議案第23号	指定管理者の指定（三浦墓地）	議員提案第1号	議会活性化調査特別委員会設置に関する決議
		議員提案第2号	東北放射光施設誘致調査特別委員会設置に関する決議

町政 Q & A

一般質問

ココが聞きたい

7名の議員が12件について質問

- | | |
|------------------|---|
| 高橋 幸彦 議員 (25ページ) | ・ 休日（日曜日を除く）の可燃ゴミの収集はできないのか |
| 後藤 良郎 議員 (25ページ) | ・ 町道等の点検について |
| 櫻井 靖 議員 (26ページ) | ・ 勤労青少年ホームについて
・ インターネットの活用について |
| 赤間 幸夫 議員 (27ページ) | ・ 災害時の町の体制と各行政区（町民）連携の在り方は
・ 人口減少歯止め策、そして増加策は |
| 今野 章 議員 (28ページ) | ・ 学校給食費は値上げすべきでない
・ 女川原発の再稼働、その是非は
・ 消防団員の待遇改善を |
| 太齋 雅一 議員 (29ページ) | ・ 水族館移転に伴う、跡地の今後は
・ 通学路等の除雪について |
| 小幡 公雄 議員 (30ページ) | ・ 国立社会保障・人口問題研究所が発表（3月1日付け河北新報朝刊）した松島町の人口変動をどう読みますか。併せて対策はありますか |



たか はし ゆき ひこ
高橋幸彦 議員

問 休日（日曜日を除く）の可燃ゴミの収集はできないか

答 できるだけ早く実施する方向で取り組む

問 磯崎地区は月曜日と木曜日が可燃ゴミの収集日である。
ハッピーマンデーといわれる成人の日、海の日、敬老の日、体育の日が月曜日の祝日となっており、可燃ゴミの収集が木曜日だけになると、どうしてもカゴの外にまであふれてしまう。



磯崎地区ゴミ集積所

答 磯崎の場合は各地区に鉄製のカゴを用意しており、ふだんはしっかりと管理されているが、木曜日だけの収集の時はカラス等の動物によごされてしまい、大変見苦しく、また、収集する人の手間もかかっている状態である。

二市三町を含めた宮黒地区の他市町は休日の月曜日にも可燃ゴミを収集している。是非わが町でも収集できないものか。

答 できるだけ早く松島町でも対応するようにしたほうがいいと思うので、平成26年度中に検討して、いつの時期かで実施するような方向で取り組みたい。

問 町道等の点検について

答 定期的に進めていきたい

問 未然に事故を防ぐ観点から、いち早く道路の不備を改善することが重要なことである。そこで町道の路線数とその距離を伺いたい。

答 路線数は356路線で、実延長が162.7キロメートルである。

問 町道の要補修箇所の点検はどのように行われているのか伺いたい。

答 町直営で随時の見回りと行政区から連絡があった場合に対応している。

問 点検マニュアルはあるのか。

答 ないが、国で義務化の話が進んでいる。



町道初原中線

問 提案であるが、郵便物を配達される配達員や宅急便の関係者等からの情報を入れてもらう事で、事故防止につながるかと考えるがどうか。

答 郵便物の配達員や宅急便の関係者等については一つのアイデアである。行政区等と話をしながら検討し、定期的な点検を進めていきたい。

一般質問



ごとう よしろう
後藤良郎 議員



さくら 櫻 井 靖 議員

一般質問

問 勤労青少年ホームについて

答 図書・メディア機能を充実させた施設に移行することを検討している

問 ITルームの利用者は大変少ない。使ってもらえるようなソフト等の充実を図ってはどうか。

答 民間がやっていることもあり、行政がそのままでやる必要があるのか検討していく。

問 いずみ文庫が開設され児童書が充実した。子ども達の図書利用を活発にする取組みは行っているのか。

答 いずみ文庫で幼児を対象とした図書を千八百冊購入した。それを活用して巡回図書、ブックラリー、「おはなし会」など、子どもの読書活動の推進を図っていく。

問 クーラーがないため夏場は窓を開けなければならぬ。大きな音を出すこともあり、隣接している家の住民に騒音で迷惑をかけていないのか。

答 近隣より騒音の苦情は来ていない。エアコンについては、施設の大幅見直しの時に考えていく。



勤労青少年ホーム

問 インターネットの活用について

答 フェイスブックで観光情報を中心にさまざまな情報を発信していく

問 防災行政無線が聞こえにくいのでフェイスブックでも同時配信してはどうか。

答 環境防災班と連携して実現させたい。

問 フェイスブックに登録すればパソコンやスマートフォンに融雪情報などが配信されるのは画期的である。利用者を増やす試みはしているか。

答 登録しなくても町のホームページより見られる工夫をした。

問 庁舎内で無料LANが使えるのは良いが、セキュリティは大丈夫か。

答 パスワードを設定していないので誰でも利用できる。職員が利用しているものと別であり、安全は確保している。

問 観光施設、災害避難施設でも無料LANが使えるようにしてはどうか。

答 整備にお金がそれほど掛からないので積極的に考えていきたい。



あか ま ゆき お
赤間 幸夫 議員

問 災害時の町の体制と 各行政区（町民）連携の在り方は

答 災害ケースに応じた対応

問 災害に対する行政の役割、住民の役割を具体的にどのように展開していくのか。

答 災害ケースに応じて自助・共助・公助による対応を地域防災計画に描き、まち全体の防災訓練や各行政区における自主防災組織を活用した訓練などを通じ浸透して行く考えである。

具体的には、3年前の震災の教訓も生かし色々なケースを想定し、地域事情に配慮したマニュアルを基に訓練で確認をしていく。

問 災害時の初動体制と既往災害区域に対する住民への周知体制はどのように行われるのか。

特に一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦は、早めの情報周知が必要で、福祉サービス事業者等との連携が求められるのではないかと。

答 想定される災害の程度に応じた情報の伝達、



防災訓練

周知は、各地区に配備した防災無線を活用したり、携帯電話やテレビ、ラジオ等を想定している。

また、高齢者部分では間もなく災害時要援護者名簿が整備されることから、行政区、民生委員、自主防災組織の代表者の方々情報共有を行い対応していく。

問 人口減少歯止め策、 そして増加策は

答 松島町の立地条件で 生かした人口増加策で

問 「住み続けるまち、行ってみたいまち松島」になるためには人口増加策が必要ではないか。

問 町長は町のトップとして、町民に寄り添い、魅力ある行政運営のために人口減少の危機感をどのように理解し、改善を図ろうとするのか。

答 震災以降これまでに復興支援や被災住宅再建支援補助の活用で定住促進を図ると共に、福祉、教育を含めた子育て環境の充実として幼稚園の一時預かり、保育所の一時保育、更には商工会青年部が行うカップリングパーティーに支援を行うなど定住促進のための取り組みを推進している。

答 松島町がいつまでも生き生きとした活気ある町であるために行政は、その役割を担っている。時間が掛かるにしても、私はその切っ掛けをやっつけていきたい。アプローチの方法も、ハード面、ソフト面があるが、まずは町民の方々の「町に住もうよ」というコンセンサスを取り、私としては一番の課題として努力をしていきたい。



今野 章 議員

一般質問

問 学校給食は値上げすべきでない

答 賄い材料は保護者負担で

問 消費税増税、食材等の値上げで給食一食当たり約30円の値上げとなるが、幼稚園の上げ幅が大きいのは何故か。

答 幼稚園は残さいが多くデザート提供で食習慣の改善を図るためである。

問 教育委員会は、父兄に値上げの的確な説明を求めているが、期間もなく理解は得られるのか。

答 予算が確定後、各学校を通し保護者に周知を図っていききたい。

問 値上げ分は年間約52万円であり、昨年末の議員削減一人分程度を充てれば値上げせずとも済むのではないか。

答 学校給食は賄い材料だけを保護者負担とし、運営経費は町となっており現状維持は難しい。

問 給食は食育の一環、定住促進など給食無料の町も。税の使い方での意気込みが問われる。

答 今検討中だが、病院にかかった子ども達に予算を投入する方向で検討している。



学校給食センター

これも聞きました

問

消防団員の待遇改善を

答

各団体の待遇等 全体的に見直しを図りたい

問

女川原発の再稼働、その是非は

答

条件の中でベストな方策を取る

基づき計画するか。

答 基本的に原子力規制委員会のシミュレーションをベースに考える。

問 女川原発で過酷事故が起きた場合、30km圏外の松島でも放射性物質による高濃度汚染の危険がある。地域防災計画における原子力防災は、どのようなシミュレーションに

問 それには地形状況が反映されていない問題がある。本町は、全村避難している飯館村と同じ位置関係にあり、それを想定した計画となるのか。

答 全村避難も含むかもしれないが、ある程度幅を見て段階的に考える。

問 全町避難も想定した計画が必要ではないか。

答 事故の発生確率、原子炉の安全性を考え、致命的な状況でない状況での計画が現実的である。

問 女川原発の再稼働を止め、エネルギー政策の転換が必要ではないか。

答 同感部分もあるが、今ある条件の中でベストな方策を取っていく。



だ さい まさ かず
太 齋 雅 一 議員

一般質問

問 水族館移転に伴う、跡地の今後は

答 松島湾の自然形態を学べる施設と牡蠣を中心とした6次産業施設を計画

問 水族館の跡地利用に
対する町の関わり方は。

答 マリンピア松島水族館の運営会社である仙台急行(株)が同敷地での跡地利用を検討していることから、町は公園管理者(宮城県)などの関係機関との仲介役として関わっている。

なお、事業内容や補助制度などについては昨年2月から今年3月までの間、13回の打ち合わせを重ねている。仙台急行(株)は一企業であるがこれまでの多大な観光振興の貢献に応えるべく、できる限りの支援をしていく考えである。

なお、仙台急行(株)の跡地利用計画では、松島湾の自然形態を学べる社会教育施設と牡蠣を中心とした漁業の6次産業化が

図れる施設となつてい
る。

問 仙台急行(株)の計画
と宮城県の考え方の整合
性は図られているのか。

答 宮城県の考え方につ
いては正式に公表されて
いないため、はっきりと
は分からない状況である



松島水族館

が、少し大きめの施設で
華やかな施設をイメージ
しているようである。

しかしながら、実際に
営業できる形が整わない
と実現することができな
いため、仙台急行(株)から
提案された内容をベー
スに検討してほしい旨を宮
城県に対して伝えてい
る。

問

通学路等の除雪について

答

地域に小型除雪機の
配備を検討

問 大雪の際に子ども達
が安全に通学ができるよ
う、地域に除雪機を配備
し、委託してはどうか。

答 現在、歩道の除雪に
ついては、対応をしてい
ない状況である。各行政
区の区長等に相談をした
ところ、一部の行政区で
は地域で「通学路」や「バ
ス停」等の除雪作業につ
いて協力可能である回答
も受けている。

今後、各行政区との打
ち合わせを実施し、必要
があれば小型除雪機等を
準備したいと考えてい
る。

問

国立社会保障・人口問題研究所が発表（3月1日付け河北新報社朝刊）した松島町の人口変動をどう読みますか。併せて対策はありますか。

答

実効性の上がる施策で実現を図る

また過去を踏まえて、実効性の上がるような施策、それから計画、その実現を図っていききたい。

今後の総合計画の人口予測は、開発可能地に全てそこに人が住むと仮定した場合にどれ位の人口になるかなどを基準にしていく。

人口問題研究所の数字は単なるトレンドで計算しているのとみている。

新聞に掲載された町の40年後の姿。人口の低下率をどうみますか。



こばたき お 議員
小幡 公雄

一般質問

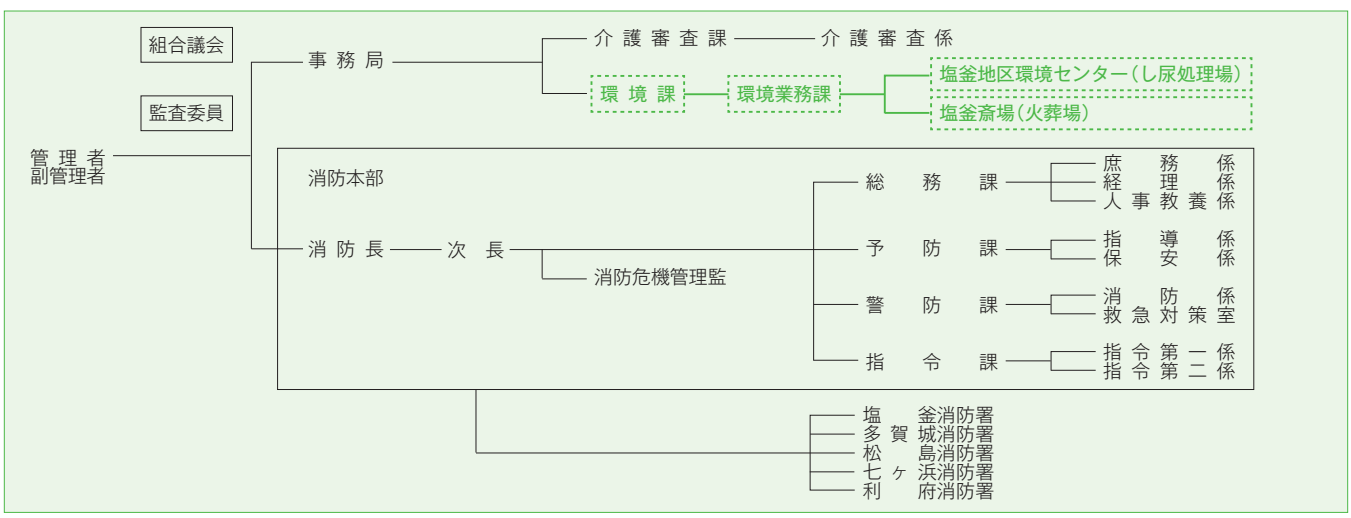


町の長期総合計画書



広域事務の一層の効率化を図るため、平成26年4月1日から塩釜地区環境組合は塩釜地区消防事務組合へ統合されました。塩釜地区環境組合が管理していた塩釜地区環境センター及び塩釜斎場はこれまでどおりです。

平成26年4月1日
再編統合の
新消防事務組合
スタート



一部事務組合議会・広域連合議会報告

宮城東部衛生処理組合議会

平成25年12月24日
(火)、宮城東部衛生処理組合議会第4回定例会が開催された。

提案された議案は、(1) 監査委員の選任同意では、片山議員が選任された。

(2)平成25年宮城東部衛生処理組合会計補正予算の歳入では、災害廃棄物

処理に係る特別負担金、

財政調整基金利子、及び繰入金を増額。歳出では、

財政調整基金利子、電気

料金値上げに伴い123

4万5千円を追加するな

ど、歳入歳出それぞれ1

854万3千円とするも

のであり、審議の結果、

原案どおり可決された。

片山正弘 議員

今野 章 議員

塩釜地区消防事務組合議会

平成25年12月24日(火)塩釜地区消防事務組合議会第4回定例会が開催された。

提案された議案は4件

で、(1)平成25年度塩釜地

区消防事務組合一般会計

補正予算、(2)平成25年度

塩釜地区消防事務組合介

護認定審査事業特別会計

補正予算、(3)平成25年度

塩釜地区消防事務組合障

害者自立支援審査事業特

別会計補正、(4)監査委員

を選任するための同意を

求めることについて、審

議の結果、原案どおり可

決された。

高橋利典 議員

赤間幸夫 議員

宮城県後期高齢者医療広域連合議会

平成26年2月5日
(水)、宮城県後期高齢

者医療広域連合議会平成

26年第1回定例会が開催

された。提案された議案

は7件で(1)宮城県後期高

齢者医療広域連合事務局

設置条例の一部を改正す

る条例、(2)宮城県後期高

齢者医療広域連合後期高

齢者医療に関する条例の

一部改正、(3)後期高齢者

医療制度臨時特例基金条

例の一部改正、(4)平成25

年度一般会計補正予算、

(5)平成25年度後期高齢者

医療特別会計補正予算、

(6)平成26年度一般会計予

算、(7)平成26年度後期高

齢者医療特別会計予算。

また、議員提案として、

東日本大震災被災者に対

する医療費の一部負担金

免除措置再開に関する意

見書など、審議の結果、

原案どおり可決された。

色川晴夫 議員

塩釜地区環境組合議会

平成25年12月24日(火)、塩釜地区環境組合議会第4回定例会が開催された。

業務内容は、生し尿、

浄化槽汚泥を合わせた総

量が7668・27tで

前年同月と比較で29

6・68t、率で3・7%

減少した。

塩釜斎場の業務実績

は、1306件で前年同

月と比較し、50件減少し

た。

提案された議案は1件

で(1)公平委員会の事務の

委託を廃止するものであ

り、審議の結果、原案ど

おり可決された。

後藤良郎 議員

高橋幸彦 議員



構成市町：多賀城市・七ヶ浜町・利府町・松島町
場 所：利府町加瀬字新船岡



構成市町：塩釜市・多賀城市・七ヶ浜町・利府町・松島町
場 所：塩釜市尾島町17

町民の声



佐藤俊郎さん
(高城字元釜家)

羅針盤

さる3月、復興・防災を含む今年度予算を討議・審議する「第一回松島町議会定例会」が開かれ、行政と14名の議員で真剣に活発に行なわれました。

人口の半数近くが沿岸・河川付近に居住する松島は、昭和35年チリ地震津波以降5〜6年に一度の災害に見舞われております。また、人口・産業・就業問題を含め課題は山積しております。次々世代をも見据えた町長が掲げる「住んでいて良かった・松島」に向けて、行政の取組は妥当

か?・・・効率的か?・・・議員・議会は地域の実態を把握しつつ町民の代表としての羅針盤役を果しているか?

町民はあるスパンで行政・議会の真剣な討議・審議・結果・将来を視ています。

昨日よりは今日、今日よりは明日への進展を議員・議会に期待しつつ、時には新装された議場で、議会傍聴を一緒に一緒にしては如何でしょうか? 行政の「今」を知る事が出来ると共に、町・地域への愛着も生れると思います。

次回6月の定例会は6月13日開催予定です。ぜひ、傍聴においで下さい。



3月11日2時46分弔意を表し黙祷



町のホームページから
議会だよりが検索できます!

ホームページアドレス
<http://www.town.matsushima.miyagi.jp/>
議会Eメール
gikai@town.matsushima.miyagi.jp

記事訂正
議事録
5Pの「町営住宅の一部改正」問2に対する「答」は、「町営住宅については当該補助は該当しない。」と訂正しお詫びします。

編集後記

春は、出会いと別れの季節です。私たち議員も卒業式や入学式に参列させていただきました。幼稚園の入園式でお母さんたちが、一年後には一人です。卒園証書を立派に受け取る姿に子ども達の成長を感じています。一ヶ月前までランドセルを背負っていた子が学生服を着ると不思議と大人びて見える姿には驚きを感じます。涙と笑顔のドラマがそこにあります。また、今まで私たちの編集を手伝ってくれていたベテランの職員が異動となり、フレッシュな職員が仲間になりました。今まで積み上げてきた良い部分を残しつつも、時代に取り残されぬよう新たな感覚で編集をしていきたいと思っています。

(櫻井 靖)

議会広報発行対策特別委員会
委員長 小幡 公雄
副委員長 櫻井 靖
委員 赤間 幸夫
色川 晴夫
高橋 利典
阿部 幸夫